

平成29年12月20日

伝統産業振興室 越村

TEL:076-225-1526 (内 4465)

石川県立伝統産業工芸館企画展

ポケットにはちまんさん

HACHIMAN-SAN IN MY POCKET

取材のお願い

石川県立伝統産業工芸館では、石川県の郷土玩具「加賀八幡起上り（はちまんさん）」と、その発祥の地である金沢に住まう人々の日常に焦点をあてた企画展「ポケットにはちまんさん HACHIMAN-SAN IN MY POCKET」を開催致します。

「加賀八幡起上り」は、縁起の良い郷土玩具として、昔は金沢の家庭に一つは必ずと言って良いくらい飾られ、これまで長く親しまれています。現在では、石川県の観光PRキャラクター「ひやくまんさん」や、老舗和菓子店のお菓子のモチーフとなるなど、私たちの生活に深く根ざした自慢の郷土文化となっています。この企画展では、1F ギャラリーで「加賀八幡起上り」をモチーフにした伝統的工芸品などを紹介するほか、2F の第3、4 企画展示室では、その発祥の地である金沢の日常を独創的な目線で切り取った工芸作品を紹介致します。これらを通して、今まで気づかなかった金沢の魅力を再発見できる企画展です。是非取材して頂きますようお願い致します。

◇**タイトル**：ポケットにはちまんさん HACHIMAN-SAN IN MY POCKET

◇**主催**：石川県立伝統産業工芸館

◇**会期**：2017(H29)年12月22日(金)～2018(H30)年1月22日(月)

※毎週木曜日は休館

9:00～17:00 (但し最終日のみ 15:00 終了)

◇**会場**：石川県立伝統産業工芸館 1F ギャラリー、2F 第3・第4 企画展示室

◇**入場**：1F 無料

2F 有料 大人(18歳以上 260円、65歳以上 200円)小人(17歳以下 100円)

◇**内容紹介**：

- ・1F ギャラリー：加賀八幡起上り関連の作品・商品の展示、
はちまんさんの顔ハメパネルやスタンプ台の設置
- ・2F 第3 企画展示室：金沢らしいモチーフをポップで新鮮な絵で表現し、その制作の様子も上映します
- ・2F 第4 企画展示室：金沢をモチーフにした型染め作品の展示

◇**出展者**：

青山健一、赤池佳江子、赤地径、atelier&gallery creava、アトリエタフタ、石川まゆみ、今江未央、今城晶子、岩本清商店、乙女の金沢、オヨヨ書林、加賀てまり鞠屋、河端理恵子、キリモト、KUTANI SEAL、工房あめつち、工房久恒、近撥弦楽器、笹島友紀子、霜田あゆ美、庄田春海、スズキサト、すはらゆうこ、セラミカラポラトリー、たくまポタリー、イルフ童画館、千と世水引、田聡美、中島めんや、中町いずみ、西川美穂、ハコヲツム、ひやくまんさんの家、兵井ひろみ、福光屋、山崎菜穂子、目細八郎兵衛商店、宇野甘源堂、金沢うら田、越山甘清堂、HUG mitten works

◇ワークショップ：(受付時間：10:00～16:00) ※随時受付 ※事前電話受付可

2017/12/23(土)

はちまんさんの土人形に絵付け、ひとつ1,000円

先生：イラストレーターの赤池佳江子さん

2017/12/26(火)

はちまんさん型の陶はしおきに絵付け、ひとつ1,500円

先生：atelier&gallery creavaの藤丸枝里子さん

2018/1/6(土)

加賀友禅はちまんさん柄ペナント&ワッペン絵付け

ペナント1,500円、ワッペン1,300円

先生：工房久恒の越田恵未さん

2018/1/14(日)

はちまんさん金属ブローチにタガネで打って模様付け、ひとつ1,600円

先生：金作家の今城晶子さん

〈問い合わせ及び取材申し込み先〉

石川県立伝統産業工芸館 金沢市兼六町1-1 Tel.076-262-2020

<http://www.ishikawa-densankan.jp> 指定管理者 ナカダ・クラフトプロジェクト

広報担当 E-mail:info@ishikawa-densankan.jp

〈チラシ〉



HACHIMAN-SAN IN MY POCKET



2017.12.22 Fri.
2018.1.22 Mon.

Ishikawa Prefectural Museum of
Traditional Arts and Crafts



ポケットにはちまんさん

HACHIMAN-SAN IN MY POCKET
2017年12月22日(金) -
2018年1月22日(月)
石川県立伝統産業工芸館
www.ishikawa-densankan.jp



「乙女の金沢展」の
歴代チラシと
看板大集合!

1F

企画展示スペース

「ポケットにはちまんさん」
"HACHIMAN-SAN IN MY POCKET"

第3展示室
青山健一「ベタベタ」
AOYAMA, Kenichi "BETA BETA"

2F

第4展示室
山崎菜穂子「石垣もコップも」
YAMAZAKI, Nahoko "Stone walls, cups and more"

はちまんさんってどなた? Who is Hachiman-san?

はちまんさんの本名は、加賀八幡起上り。応神天皇のご誕生のときに、深紅の綿で包んだ産衣姿が元になったとされる張子のお人形です。はちまんさん発祥の神社は「安江八幡宮」。金沢駅から歩いて5分ほどのところにあります。絵馬やお守り、御朱印帖もはちまんさん柄です。



"Kaga Hachiman Okiagari" Doll
A traditional folk toy of Kanazawa

Hachiman-san's real name is Kaga Hachiman Okiagari. It is a papier-mache doll said to have derived from the way Emperor Ojin was dressed in crimson cotton baby clothes when he was born. Hachiman-san originated at the Yasue Hachiman Shrine, located just a five-minute walk away from Kanazawa Station. The shrine's ema (wooden votive tablets), omamori (amulets) and goshuincho (temple seal-stamp notebooks) are all adorned with Hachiman-san prints.

加賀八幡起上りは、1955年のお年玉郵便切手のモチーフにもなりました。



その土地らしさってなんだらう

What makes the works uniquely local?

ある場所で作られる作品のその土地らしさってなんだらう。住む場所をモチーフにするとどういことだらうか。今回は、3つの展示室で、三様の「金沢をモチーフにした作品」をご紹介します。陰に潜むテーマはこちら。
1F 「ポケットにはちまんさん」
地元で見過ごされてきたものを見直して新しく作る。
2F 青山健一「ベタベタ」
地元で見慣れたベタなモチーフをポップに作りかえる。
2F 山崎菜穂子「石垣もコップも」
身近にある何気ないものを独自の線や形で表現する。その土地らしさを意識せずとも、その自然と文化と歴史に浸り生活する中で、滲み出るものもあるかもしれません。作られたものに滲み出る(または、滲み出ない)その土地らしさ、そして何より、その作家らしさを感じてください。

はちまんさんワークショップ Craft workshop

2017/12/23(土)

はちまんさんの土人形に絵付け
先生:イラストレーター・赤池佳江子さん
ひとつ1,000円

2017/12/26(火)

はちまんさん型の陶はしおきに絵付け
先生:atelier&gallery creava・
藤丸枝里子さん
ひとつ1,500円

2018/1/6(土)

加賀友禅はちまんさん柄
ペナント&ワッペン絵付体験
先生:工房久恒・越田恵未さん
ワッペン1,300円、ペナント1,500円

2018/1/14(日)

はちまんさん金属ブローチに
タガネで打ってもよう付け
先生:金工作家・今城晶子さん
ひとつ1,600円



顔ハメあります

最新情報はこちら
www.ishikawa-densankan.jp
www.otome.kirikougei.com

予約もできます。飛び入り可。☎076-262-2020(企画広報担当)

ポケットにはちまんさん



2017.12.22(金)
2018.1.22(月)

石川県立伝統産業工芸館

企画展示スペース 「ポケットにはちまんさん」

約50の作家や工房による、加賀八幡起上りをモチーフにした作品を展示&販売いたします。九谷焼、ガラス、金工、和紙、絵葉書、蒔絵、水引、ウクレレ、はしおき、ブローチ、刺繍、お酒やお菓子などなど、さまざまに姿を変えたはちまんさんの世界をお楽しみください。



- AOYAMA, Kenichi (青山健一 / Postcard)
- AKAIKE, Kaeko (赤池佳江子 / 土人形・Postcard・ぼち袋)
- AKAJI, Kei (赤地径 / 九谷焼はしおき)
- atelier & gallery creava (クリエヴァ / 陶はしおき・小皿)
- atelier taffeta (アトリエタフタ / 刺繍額・ブローチ)
- ISHIKAWA, Mayumi (石川まゆみ / 手漉き和紙の封筒・一筆箋)
- IMAE, Mio (今江未央 / 九谷焼)
- IMAJO, Akiko (今城晶子 / 金工ブローチ)
- IWAMOTO Kiyoshi Shouten (岩本清商店 / ちょこっとトレイ・てるてる)
- Otome no Kanazawa (乙女の金沢 / 絵葉書・シール)
- Oyoyo Shorin (オヨヨ書林せせらぎ通り店 / 郷土玩具の古本)
- Kaga-Temari Mariya (加賀手まり毬屋 / 手まり・ゆびぬぎ)
- KAWABATA, Rieko (河端理恵子 / 赤絵細描の小皿)



ごミユ印帖に
おもしろ

- KIRIMOTO (キリモト / 弁当箱)
- KUTANI SEAL (九谷焼みっちゃんはしおき・ガチャガチャ)
- Kobo Ametsuchi (工房あめつち / そぼちよこ・陶小箱・ブックはしおき)
- Kobo Hisatsune (工房久恒 / 加賀友禅ペナント・ワッペン)
- Kon hatsugengakki (近撥弦楽器 / ウクレレ)
- SASAJIMA, Yukiko (笹島友紀子 / 真鍮灰ならし)
- SHIMODA, Ayumi (霜田あゆ美 / 絵付け人形・刺繍)
- SHODA, Harumi (庄田春海 / 九谷焼)
- SUZUKI, Sato (スズキサト / はしおき・カップ)
- SUHARA, Yuko (すはらゆう子 / こけしブローチ・こけし)
- ceramica laboratory (セラミカラボラトリー / マグカップ・スプーン・ブローチ)
- Takuma pottery (たくまポタリー / 豆皿)
- ILF Douga Museum of Art (武井武雄の世界 イルフ画廊 / 絵葉書・ぼち袋・Tシャツ)
- Chitose Mizuhiki (千と世水引 / 水引細工のブックカバー)
- DEN, Satomi (田聡美 / ガラスのもん皿)
- Nakajima Menya (中島めんや / 加賀八幡起上り)

- NAKAMACHI, Izumi (中町いずみ / 九谷焼)
- NISHIKAWA, Miho (西川美穂 / 金工ブローチ)
- Haco-o-tsumu (ハコオツム / 紙箱)



- Hyakumansan no Ie (ひやくまんさんの家 / ひやくまんさんグッズ)
- HYOUI, Hiromi (兵井ひろみ / 革のしおり)
- Fukumitsuya (福光屋 / 手ぬぐい・木舟)
- Mebosu Hachirobei Company (目細八郎兵衛商店 / 針の小箱・糸巻き・小さな裁縫セット)
- Uno Kangen-do (宇野甘源堂 / 加賀せんべい)★
- Urata (金沢うら田 / 加賀八幡起上りもなか)★
- Koshiyama Kansei-do (越山甘清堂 / 焼きまん)★
- HUG mitten works (ひめだるまクッキー)★
- Fukumitsuya (福光屋 / 日本酒)★

★食品は展示のみ

第3展示室

青山健一「ベタベタ」 AOYAMA, Kenichi "BETA BETA"

ことじ灯籠や鼓門、雪吊りやはちまんさんなど、昔ながらのベタなザ・金沢モチーフが、絵描きの手でおどろくほどポップに変身します。
1 金沢のなにげない景色の中で、気になる場所を写真に撮って絵にする。そのようすを上映します。
2 ふだん見慣れた街並みが、あざやかに迫ります。

青山健一プロフィール
東京都出身。石川県金沢市在住。1995年美術家として活動開始。ギャラリーの他、廃ビル・ライブハウス・劇場・屋外公共スペースなど、様々な空間で、絵画や映像の展示やインスタレーションを行う。1997年より「波さ知らズ」の美術・映像メンバーとして、ライブや音楽フェス、海外ツアーなどの舞台美術を担当。その他、即興性を重視した映像パフォーマンス、演劇やダンスの舞台美術、子ども服ブランドへのイラスト提供など、様々な活動を展開する。2012年三角みづ紀文の絵本「あした、せかいが」(書肆侃侃房)を上梓。同年「大地の芸術祭」、2014年「中房総国際芸術祭」に舞台美術・映像作品で参加。http://aoken.info

第4展示室

山崎菜穂子「石垣もコップも」 YAMAZAKI, Nahoko "Stone walls, cups and more"

金沢で働き、金沢で暮らす型染め作家の、日常の風景。家の中にあるコップやリング。外を歩いていて見える景色のなかの、選び抜かれたどこかの線。染めの型作りの制約と相まって、独特の図案を作り上げます。型染めの手法による、大きなタペストリー、ワンピースやあずま袋、コースターなどの作品を、最終図案に至るまでのスケッチやデザイン画のノートとともに展示します。

山崎菜穂子プロフィール
1988年神奈川県生まれ。2011年女子美術大学芸術学部工芸学科染専攻卒業。2014年卯辰山工芸工房染工房修了。2016年より金沢湯涌創作の森スタッフ。2010年「Print Textile Festival of cocca」、遠山正道賞、2011年「女子美術大学美術館賞」、「女子美術大学美術館収蔵作品賞」受賞。http://katasome.jugem.jp

石川県立伝統産業工芸館

石川県金沢市兼六町1-1 TEL. 076-262-2020
開館時間 9:00-17:00(入館は16:45) ※最終日は16:00まで
休館日 木曜日(12-3月は毎週木曜と年末年始)
入館料 1Fは無料、2Fは17歳以下は100円(80円)、18歳以上260(200)円、65歳以上200(200)円
※カッコ内は団体30名以上の料金。

- 交通アクセス
バス 「兼六園シャトル」で「県立美術館・成賢閣前」下車、徒歩2分。
7番乗り場から「城下町金沢周遊バス」で「広坂」下車、徒歩約2分。
7番乗り場から北鉄バス小立野方面行きに乗り、「出羽町」下車、徒歩約2分。
- タクシー JR金沢駅から約15分
- 車 北陸自動車道「金沢西」か「金沢森本」インターより20〜30分。無料Pあり。



伝統工芸士による実演
1F エントランスホールにて
10:00-15:00(お昼休み12:00-13:00)
12/23(土) 24(日) 加賀友禅
1/13(土) 14(日) 金沢箔
1/20(土) 21(日) 郷土玩具

